

## 実務経歴書

私は、**二級建築士の免許**を受けたので、建築実務の経歴を以下のとおり記載し、併せて使用者その他これに準ずる者が以下の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、以下の事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

令和 8 年 7 月 6 日

氏名 **建築太郎**

神奈川県知事殿  
神奈川県指定登録機関  
一般社団法人 神奈川県建築士会会長 殿

勤務先等						
勤務先（部課名まで）	所在地（番地まで）	在職期間の合計				
		年月～年月	年月数			
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目 〇〇番地	平成30年4月～ 令和8年7月	7年 4月			
在職期間		地位職名	建築実務の内容（建築士法施行規則第1条の2）			
年月～年月	年月数					
平成31年 4月～ 令和8年 7月	7年 4月	技師	建築物の工事監理に関する実務			
年月～年月	年月					
年月～年月	年月					
建築実務の詳細			建築実務経験期間の合計			
			7年 0月			
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合	
	S 邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	年月～年月	年月数		
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）			平成31年 4月～令和元年7月	0年 4月	100%
専用住宅（木造2階建て、延べ面積140㎡）の新築工事において、工事監理補助を担当した。					実務コード	2B-01
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合	
	Y 邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	年月～年月	年月数		
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）			令和元年 8月～令和2年1月	0年 6月	100%
専用住宅（鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積200㎡）の新築工事において、工事監理補助を担当した。					実務コード	2B-01
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合	
	〇〇マンション	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	年月～年月	年月数		
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）			令和2年 2月～令和3年3月	1年 2月	100%
共同住宅（鉄筋コンクリート造10階建て、延べ面積1,500㎡）の新築工事において、工事監理補助を担当した。					実務コード	2B-01
※登録機関記載欄						

注) 建築実務経験の詳細について、記入欄が不足する場合は、裏面に記入してください。  
裏面の「記入上の注意」を必ずお読みの上、ご記入ください。

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合
			年月～年月	年月数	
	〇〇老人ホーム	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	令和3年4月～令和3年6月	0年 3月	100%
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				実務コード
老人ホーム（木造2階建て、延べ面積250㎡）の新築工事において、工事監理補助を担当した。				2C-01	
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合
			年月～年月	年月数	
	〇〇マンション	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	令和3年7月～令和3年12月	0年 6月	%
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				実務コード
共同住宅（鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積800㎡）の新築工事において、工事監理補助を担当した。				2C-01	
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合
			年月～年月	年月数	
	0 邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	令和4年1月～令和4年4月	0年 4月	100%
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				実務コード
専用住宅（木造2階建て、延べ面積76㎡）の新築工事において、工事監理補助を担当した。				2C-01	
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合
			年月～年月	年月数	
	M邸（専用住宅）の工事監理他5件	-	令和4年5月～令和8年3月	3年 11月	100%
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				実務コード
令和4年5月から令和8年3月までの3年11ヶ月は、住宅の工事監理補助業務を6件担当した。				2C-01	
※登録機関記載欄					

【記入上の注意】 必ずお読みください。

- この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。
- 建築実務経験期間欄は、在職中に建築関係の業務を行った年数を記入してください。在職中に土木関係と建築関係の業務を同時に行った場合は、建築関係業務の割合（割合を「建築関係業務の割合」欄に記入）を年数に換算して記入してください。（例 1年間土木50%建築50%行った場合、建築に関する実務経験年数は6月とする。）
- 在職中に長期療養等の理由で実際に建築に関する実務に就いていなかった期間は、建築実務経験期間に入れないで計算します。
- 実務経験の対象となる業務の内容について、別紙「建築士試験に係る実務経験の対象実務の例示コード表」より該当するコードを「実務コード」欄へ記入してください。
- なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。